

特定施設の構造及び使用の方法

別紙1

特定施設の構造	特定施設名 (特定施設番号)	() ()										
	形式											
	材質・形状・寸法	別図 () のとおり		別図 () のとおり								
	能力											
	設置数	基		基								
	特定施設及び関連する 主要機械・主要装置の配置	別図 () のとおり		別図 () のとおり								
	新設・変更の着手予定	平成	年	月	日	平成	年	月	日			
	完成予定	平成	年	月	日	平成	年	月	日			
使用開始予定	平成	年	月	日	平成	年	月	日				
特定施設の使用の方法	特定施設の設置場所	別図 () のとおり				別図 () のとおり						
	特定施設を含む操業の系統	別図 () のとおり				別図 () のとおり						
	一日の使用時間 (実稼動時間)	時～時 () 時間				時～時 () 時間						
	使用の季節的変動の概要	有 無				有 無						
	使用原料又は使用薬品の 種類と使用方法及び一日 あたりの使用量											
	特定施設から排出される 汚水の量及び水質	最大 通常	水量 (m3/時)	水質(mg/L)				水量 (m3/時)	水質(mg/L)			
その他特定施設の構造及び使用 の方法について参考になる事項												

特定施設の構造及び使用の方法

別紙1

特定施設の構造	特定施設名 (特定施設番号)	自動式車両洗淨施設 (71)				()						
	形式	〇〇社製〇〇〇型										
	材質・形状・寸法	別図 (2) のとおり				別図 () のとおり						
	能力	〇〇台/時間										
	設置数	1 基				基						
	特定施設及び関連する 主要機械・主要装置の配置	別図 (1) のとおり				別図 () のとおり						
	新設・変更の着手予定	平成 〇 年 〇 月 〇 日				平成 年 月 日						
	完成予定	平成 〇 年 〇 月 〇 日				平成 年 月 日						
使用開始予定	平成 〇 年 〇 月 〇 日				平成 年 月 日							
特定施設の使用の方法	特定施設の設置場所	別図 (1) のとおり				別図 () のとおり						
	特定施設を含む操業の系統	別図 (3) のとおり				別図 () のとおり						
	一日の使用時間 (実稼動時間)	8 時 ~ 20 時 (12) 時間				時 ~ 時 () 時間						
	使用の季節的変動の概要	有 無				有 無						
	使用原料又は使用薬品の 種類と使用方法及び一日 あたりの使用量	中性洗剤 〇〇 リットル/日 ワックス 〇〇 リットル/日										
	特定施設から排出される 汚水の量及び水質	最大 通常	水量 (m3/時)	水質(mg/L)				水量 (m3/時)	水質(mg/L)			
				鉱油								
		0.4	10									
		0.2	8									
その他特定施設の構造及び使用 の方法について参考になる事項												

汚水の処理の方法

処 理 方 法				
処理施設の設置場所	別図 () のとおり			
着手予定	平成	年	月	日
完成予定	平成	年	月	日
使用開始予定	平成	年	月	日
汚水処理の概要	別紙 2-2 のとおり			
汚水処理の系統 (フローシート等添付のこと)	別図 () のとおり			
汚水の集水及び 処理施設までの導入方法	別図 () のとおり			
処理施設の使用時間 (実稼動時間)	____ 時 ~ ____ 時 () 時間			
処理施設の使用の 季節的変動の概要	有			無
処理に使用する薬品の種類 及び1日あたりの量	薬品名	使用量	薬品名	使用量
処理前後の水質及び水量	別紙 2-2 のとおり			
処理により生じた残差の種類 及び生成量並びに処理の方法				
汚水を公共下水道へ排除する 方法(排水口の位置及び数)	別図 () のとおり			
設計及び施工業者名				
	電話番号			
発生する濃厚廃液の 種類及び処理の方法	別添 濃厚廃液調査表のとおり			
その他汚水の処理の方法 について参考となる事項				

汚水の処理の方法

処 理 方 法	油水分離(4槽式油水分離槽)			
処理施設の設置場所	別図 (1) のとおり			
着手予定	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日			
完成予定	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日			
使用開始予定	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日			
汚水処理の概要	別紙 2-2 のとおり			
汚水処理の系統 (フローシート等添付のこと)	別図 (3,4) のとおり			
汚水の集水及び 処理施設までの導入方法	別図 (1) のとおり			
処理施設の使用時間 (実稼動時間)	8 時 ~ 20 時 (12) 時間			
処理施設の使用の 季節的変動の概要	有			無
処理に使用する薬品の種類 及び1日あたりの量	薬品名	使用量	薬品名	使用量
処理前後の水質及び水量	別紙 2-2 のとおり			
処理により生じた残差の種類 及び生成量並びに処理の方法				
汚水を公共下水道へ排除する 方法(排水口の位置及び数)	別図 (1) のとおり			
設計及び施工業者名	○○建設工業(株) 電話番号 000-000-0000			
発生する濃厚廃液の 種類及び処理の方法	別添 濃厚廃液調査表のとおり			
その他汚水の処理の方法 について参考となる事項				

下水の量及び水質

別紙3

排水口名							
排水の種類							
水質	水量(m ³ /日)	最大	通常	最大	通常	最大	通常
	単位 mg /L (pHを除く)	水素イオン濃度					
生物化学的酸素要求量							
浮遊物質							
ノルマルヘキサ ン抽出物質		鉛	油				
		動植物油					
シアン化合物							
六価クロム化合物							
銅及びその化合物							
亜鉛及びその化合物							
鉄及びその化合物(溶解性)							
クロム及びその化合物							
その他、下水の量及び水質 について参考となる事項							

備考:水質測定項目については、裏面の「下水道への排除基準表」の水質項目より選択し記入してください。

用水及び排水の系統

用水 の 種類 及び 量	上水道			m ³ /日	
	工業用水			m ³ /日	
	河川水			m ³ /日	
	循環水及び回収水			m ³ /日	
	その他()			m ³ /日	
	合計			m ³ /日	
排水 の 種類 及び 量	排水口名				
	作業排水	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	
	冷却水	直接	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日
		間接	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日
	その他排水(生活排水)	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	
	小計	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	
	合計			m ³ /日	
用水及び排水の系統図	別図 () のとおり				

忠岡町下水道排除基準

別紙3裏面

公共下水道への排除が禁止されている基準（直罰基準）

除害施設の設置義務が課せられる基準（除害施設設置基準）

対象物質又は項目	終末処理場に接続されている公共下水道の使用者				単位
	特定施設の設置者			その他の事業場	
	50m ³ /日以上	30m ³ /日以上	30m ³ /日未満		
カドミウム及びその化合物	0.03	0.03	0.03	0.03	mg/L以下
シアン化合物	1	1	1	1	mg/L以下
有機リン化合物	1	1	1	1	mg/L以下
鉛及びその化合物	0.1	0.1	0.1	0.1	mg/L以下
六価クロム化合物	0.5	0.5	0.5	0.5	mg/L以下
砒素及びその化合物	0.1	0.1	0.1	0.1	mg/L以下
水銀及び珪水銀その他の水銀化合物	0.005	0.005	0.005	0.005	mg/L以下
珪水銀化合物	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと	mg/L以下
ポリ塩化ビフェニル	0.003	0.003	0.003	0.003	mg/L以下
トリクロロエチレン	0.1	0.1	0.1	0.1	mg/L以下
テトラクロロエチレン	0.1	0.1	0.1	0.1	mg/L以下
ジクロロメタン	0.2	0.2	0.2	0.2	mg/L以下
四塩化炭素	0.02	0.02	0.02	0.02	mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.04	0.04	0.04	0.04	mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	1	1	1	1	mg/L以下
β-1,2-ジクロロエチレン	0.4	0.4	0.4	0.4	mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	3	3	3	3	mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.06	0.06	0.06	0.06	mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン	0.02	0.02	0.02	0.02	mg/L以下
チウラム	0.06	0.06	0.06	0.06	mg/L以下
シマジン	0.03	0.03	0.03	0.03	mg/L以下
チオベンカルブ	0.2	0.2	0.2	0.2	mg/L以下
ベンゼン	0.1	0.1	0.1	0.1	mg/L以下
セレン及びその化合物	0.1	0.1	0.1	0.1	mg/L以下
ほう素及びその化合物	10	10	10	10	mg/L以下
ふっ素及びその化合物	15	15	15	15	mg/L以下
1,4-ジオキサン	0.5	0.5	0.5	0.5	mg/L以下
ダイオキシン類	10	10	10	10	pg-TEQ/L以下
フェノール類	5	5	5	5	mg/L以下
銅及びその化合物	3	3	3	3	mg/L以下
亜鉛及びその化合物	2	2	2	2	mg/L以下
鉄及びその化合物（溶解性）	10	10	10	10	mg/L以下
マンガン及びその化合物（溶解性）	10	10	10	10	mg/L以下
クロム及びその化合物	2	2	2	2	mg/L以下
アンモニア性窒素、亜硝酸窒素及び硝酸性窒素 NH4-N、NO2-N、NO3-N	380(125)	380(125)	380(125)	380(125)	mg/L未満
生物化学的酸素要求量	600(300)	600(300)	600(300)	600(300)	mg/L未満
浮遊物質	600(300)	600(300)	600(300)	600(300)	mg/L未満
ノルマル抽出物質 含有量(n-Hex)	鉱物油 5	注：3			mg/L以下
	動植物油 30				mg/L以下
水素イオン濃度	5を超え、9未満 (5.7を超え、8.7未満)	5を超え、9未満 (5.7を超え、8.7未満)	5を超え、9未満 (5.7を超え、8.7未満)	5を超え、9未満 (5.7を超え、8.7未満)	水素指数
温度	45(40)	45(40)	45(40)	45(40)	℃
汚濁消費量	220	220	220	220	mg/L未満
色又は臭気	放流先で支障のないこと				
全窒素	240(150)	240(150)	240(150)	240(150)	mg/L未満
全リン	32(20)	32(20)	32(20)	32(20)	mg/L未満

1.pH、BOD、SSの（ ）内の数値は、排水量が終末処理場の処理量の4分の1以上等の製造業又はガス供給業の事業場に適用される。

2.ダイオキシン類の直罰基準は、ダイオキシン類特別措置法に定める特定施設のみ適用される。

3.n-ヘキサン抽出物質に係る排除基準

平均的な排水量 (m ³ /日)	1000m ³ 未満	1000m ³ 以上 5000m ³ 未満	5000m ³ 以上
鉱物油	5	4	3
動植物油	30	20	10

4. 特定施設設置者におけるふっ素の排除基準は、当町の下水道排水処理を行っている大阪府湾岸北部水未来センターの放流先が海域であるため、下水道法施行令第9条の4第1項の規定に基づき15mg/Lが適用される。

5. 特定施設設置者におけるほう素の排除基準は、当町の下水道排水処理を行っている大阪府湾岸北部水未来センターの放流先が海域であるが、大阪府条例（水質汚濁防止法第3条第3項の規定による排水基準を定める条例別表第2項の規定）に基づき10mg/Lが適用される。

下水の量及び水質

排水口名		No.1		No.2				
排水の種類		作業排水+生活排水		雨水				
水量(m ³ /日)		最大	通常	最大	通常	最大	通常	
水質		6.5	5.5					
単位 mg /L (pHを除く)	水素イオン濃度							
	生物化学的酸素要求量							
	浮遊物質							
	ノルマルヘキサ ン抽出物質	鉛	5	3				
		動植物油						
	シアン化合物							
	六価クロム化合物							
	銅及びその化合物							
	亜鉛及びその化合物							
	鉄及びその化合物(溶解性)							
	クロム及びその化合物							
その他、下水の量及び水質 について参考となる事項								

用水及び排水の系統

用水の 種類 及び 量	上水道	5.5		m ³ /日		
	工業用水			m ³ /日		
	河川水			m ³ /日		
	循環水及び回収水			m ³ /日		
	その他()			m ³ /日		
	合計	5.5		m ³ /日		
排水の 種類 及び 量	排水口名	No.1		No.2		
	作業排水	4.5	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	
	冷却水	直接		m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日
		間接		m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日
	その他排水(生活排水)	1.0	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	
	小計	5.5	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	
合計	5.5		m ³ /日			
用水及び排水の系統図		別図 (3) のとおり				

濃 厚 廃 液 調 査 票

発生箇所 (番号)	種類	主要成分 及び濃度	有害物質	発生(回収)量 発生(回収)周期	保管方法	処理・処分の方法

備考

- 1.発生箇所の欄は、別紙1の「特定施設を含む操業の系統」の番号も記入してください。
- 2.保管方法、処理・処分の方法は、できるだけ詳しく記入してください。
- 3.処理・処分を専門業者に委託する場合は、委託契約書の写し等を添付してください。

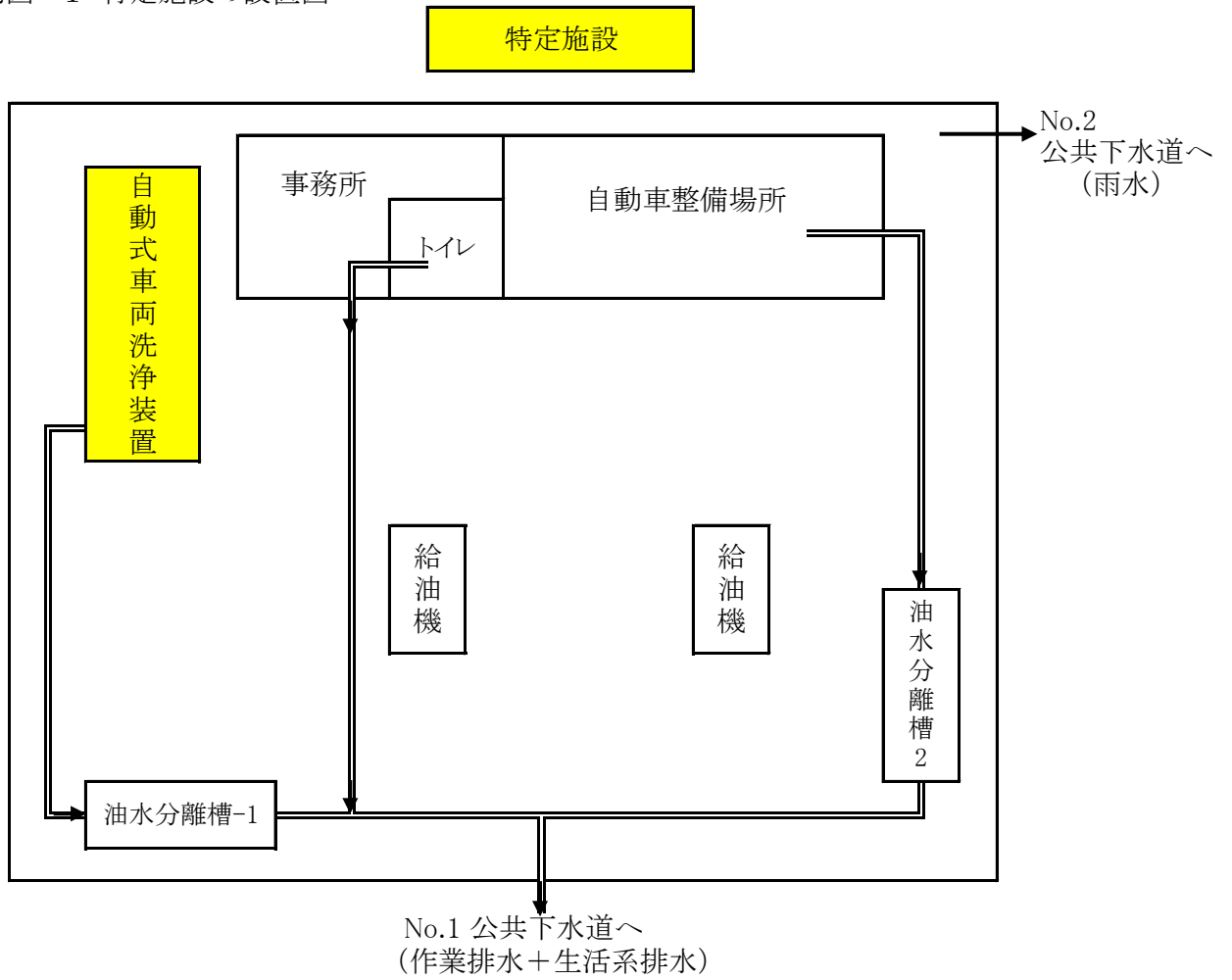
濃 厚 廃 液 調 査 票

発生箇所 (番号)	種類	主要成分 及び濃度	有害物質	発生(回収)量 発生(回収)周期	保管方法	処理・処分の方法
	油水分離槽 スラッジ		なし	500L 月	業者による清掃回収	(株)〇〇興産株式会社に処理処
	車両整備 回収廃油		なし	400L 月	ドラム缶	〇〇産業(株)に委託処理処分

備考

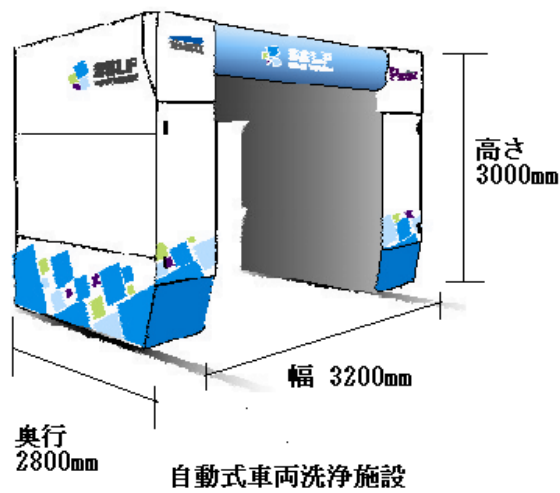
- 1.発生箇所の欄は、別紙1の「特定施設を含む操業の系統」の番号も記入してください。
- 2.保管方法、処理・処分の方法は、できるだけ詳しく記入してください。
- 3.処理・処分を専門業者に委託する場合は、**委託契約書の写し**等を添付してください。

別図-1 特定施設の設置図



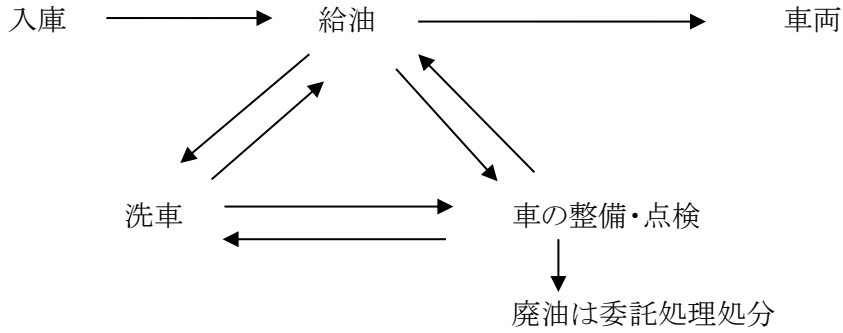
別図-2 特定施設の概要図

カタログ等を添付する

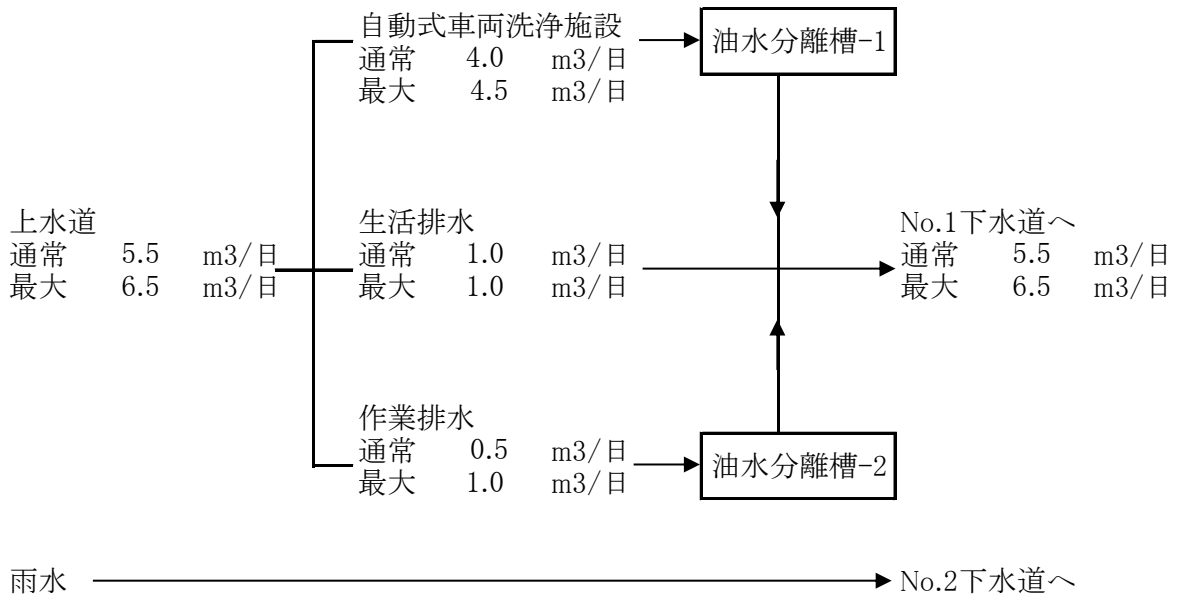


別図-3 作業系統図ならびに用水及び排水の系統図

< 作業系統図 >



< 用水及び排水の系統図 >



別圖一4 油水分離槽外觀圖

4槽式油水分離槽

